

福沢桃介 実業家。相場師で財をなし、様々な仕事に熱中しながらも軸振れず、近代日本の電気産業の基礎を築いた。

ふくざわももすけ

明治維新・1868 = 武蔵国横見郡(埼玉県比企郡)で、農民岩崎紀一の次男に生まれる。

明治6年政変 1873 = 5歳 :

西南戦争・1877 = 9歳 :

明治14年政変 1881 = 13歳 :

岩倉具視没・1883 = 15歳 : 慶応義塾に入学,

内閣発足・1885 = 17歳 : 女優川上貞奴と出会い、終生親しい仲となる。

帝国大学始・1886 = 18歳 : 福沢諭吉との間で、養子話が決定し、

国民之友始・1887 = 19歳 : 慶応義塾を卒業。諭吉の次女ふさの婿として入籍後、アメリカにわたり、ペンシルベニア鉄道の見習をした後、

帝国憲法発布 1889 = 21歳 : 帰国。北海道炭礦鉄道会社に入社。

日清戦争始・1894 = 26歳 : 日清戦争に際して外国船をチャーターし、石炭を輸送。肺結核で倒れ、退社し、株相場をはじめ。

日清戦争終・1895 = 27歳 : 巨額の利益を上げ、

Bushidou・1899 = 31歳 : {丸三商会}を設立するも、病で整理、

田中正造直訴 1901 = 33歳 : 北海道炭礦鉄道に再就職し、

日露戦争始・1904 = 36歳 :

日露戦争終・1905 = 38歳 :

満鉄発足・1906 = 38歳 : 日本初のボンド社債導入に尽力して、退社。<日露戦争>相場で再び巨利を得ると、

韓国反日暴動 1907 = 39歳 : *{日清紡績}を設立し、相場から手をひく。

伊藤博文暗殺 1909 = 41歳 : *松永安左衛門と組み{福博電気軌道}を創設して社長に就任。{名古屋電灯}筆頭株主として常務に就任。

大逆事件判決 1911 = 43歳 : 日本瓦斯会社を設立。四国水力電気・浜田電気・野田電気会社などの社長。唐津動道会社取締役となる。

明治天皇没・1912 = 44歳 : 千葉県から衆議院議員に当選し、政府予算批判演説で名声も得た。

大正政変・1913 = 45歳 : 借金に追い詰められて帝国座を手放した川上貞奴との関係が深まり、

第一次大戦始 1914 = 46歳 : {名古屋電灯}社長となる。

本格政党内閣 1918 = 50歳 : 引退興行を終えた貞奴と同棲生活に入って、川上絹布会社設立を支援、

第一次大戦終・1919 = 51歳 : {大阪送電}を創立して社長となり、

大暴落・1920 = 52歳 : *{木曾電気興業}{日本推力}を合併して{大同電力}となり、5大電力資本の一角を成すに至り、

原敬首相暗殺 1921 = 53歳 :

水平社結成・1922 = 54歳 :

以後、木曾川筋八百津発電所・矢作水力など、木曾川水系の電源開発を大々的に推進し、
護憲三派圧勝 1924 = 56歳 : {大同電力}の1500万ドル外債契約を成立させるなど、目覚ましい活躍をしたが、

円本時代始・1926 = 58歳 : {帝国劇場}代表取締役となる。

共産党事件・1928 = 60歳 : *実業界を引退し、熱海に別荘を建てて移住。

満州事変・1931 = 63歳 :

日中戦争始・1937 = 69歳 :

健保+総動員 1938 = 70歳 : 没した。